

〔曲名〕 Visioni Egiziane

組曲 エジプトの幻影

1.Danza

踊り

2.Leggenda della Sfinge

スフィンクスの伝説

3.Sul Nilo

ナイル河にて

〔曲種〕 Suite

組曲

〔作曲者〕 Giulio de Micheli

ジュリオ デ ミケーリ

〔編曲〕 Jiro Nakano

中野二郎

作者については全く知ることが出来ないが、1933年イタリアからアマディの作品などと一緒に興味ある管弦楽を数多出版している。

本曲もその一つで作品百二十二番、時のエジプト王ファード一世に献曲されている。

エジプトとイタリアとは地理的にも歴史的にも交流は深く、この王もイタリアで学んだ人であるとう。

かのマンドリンオーケストラ曲アラビアの隊商を作曲して入賞したバルヴァスは、この曲をファード一世の皇子ファールーク皇子に捧げ、

この礼状が額に収められて恭（うやうや）しくバルヴァス未亡人宅の応接間に飾ってあると云う。

エジプトはナイル河流域を中心に世界最古の文明が栄えたところ。

ここの舞踊は

1.古代の天文学で説いているように星座の運動模倣である儀式的か宗教的舞踊。

2.人生の情熱、その劇的か歴史的の表現である恋愛或は闘争の舞踏。

3.動物的な祖先の信仰の対照であった動物の運動の物真似或はその模倣舞踏の三つがあると云われるが本曲はそのいずれに当たるのであろうか。

単調なリズムとムーア風音階に特徴がある。

第二楽章 スフィンクスの伝説

スフィンクスはギリシャ神話の怪物で人面獅子身。

通行人に「朝は四脚、昼は二脚、夜は三脚で歩く動物は何か」という謎をかけ解けない者を殺していたが、

オイディプスによって「人間である」と解答され、海に身を投じて死んだという。

エジプトのギザのピラミッドを守護している巨大な石像のスフィンクスはこの話を知らないでもそれ自身神秘である。

第三楽章 ナイル河にて

世界第三位の大河

遠くビクトリア湖とターナ湖に源を発し、長途の砂漠地帯を貫流し、

地中海に注ぐ大三角州と長い流域は世界最古の文明の発祥地であり、数々の歴史を秘めている。

喧騒の表現はその市場風景でもあろうか。

マンドリン古典合奏曲集11集より